令和８年度　　日野高等学校　学校評価

本年度の重点目標

生徒・教職員・保護者・地域が育つ（学ぶ）学校
・生徒一人ひとりの能力・適性・希望等を生かした教育活動の推進
・「どの子にもわかる指導・支援」の充実

領　域	重　点　評　価　項　目	中間評価(10月)	総合評価（３月）	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1　学校経営	生徒・教職員が明るく、元気な魅力ある学校となるように努めている。	A		
	教育活動の各領域において、学校評価をもとに活動の改善を行っている。	A		
2　学習指導	授業規律を確立し、基礎学力の定着に努めている。	A		
	主体的な学びにつながるよう授業の工夫に取り組んでいる。	A		
	ＩＣＴ機器を有効に活用した授業を推進している。	A		
	系列の特徴を活かした授業や取組みを行っている。	A		
3　生徒指導	規範意識の高揚と基本的生活習慣が身につくように努めている。	A		
	問題行動の早期発見と防止に努めている。	A		
	悩みごとやいじめ等の早期発見と防止に努めている。	A		
4　進路指導	生き方・在り方を考えさせ、早期からの系統的な進路指導を行っている。	A		
	進学補習の強化や求人開拓により、多様な生徒の希望進路の実現に努めている。	A		
5　特別活動等	生徒の実態や学年段階に応じたホームルーム活動や学校行事を適切に行っている。	A		
	生徒会活動・部活動の充実と地域ボランティア活動への積極的な参加を促している。	A		
6　学校図書館	読書週間の設定や定期的な図書館情報の発行により、生徒の読書の意欲を高めるよう努めている、	A		
7　保健・安全指導	生徒の健康管理と病気の予防に努め、怪我・病気等への対応を適切に行っている。	A		
	教育相談、特別支援教育体制を充実させ、個々の生徒の課題に丁寧に向き合っている。	A		
8　人権教育	差別等のない、明るく、生き生きとした学校づくりに努めている。	A		
	ホームルーム活動、産業社会と人間、総合的な探究の時間等を有効に活用し、人権学習を行っている。	A		
9　環境教育	日々の清掃活動や地域との共同清掃をとおして、環境問題への意識を高めている。	B		
	持続可能な社会をめざし、ゴミの分別・減量化や省エネ等に取り組んでいる。	B		
10　事務・管理	施設・設備の点検・整備を日常的に行っている。	A		
	文書、経理管理を適切に行っている。	A		
11　その他 学校の取組	広報活動を充実させ、地域住民や関係機関、幼小中学校との連携と交流を積極的に行っている。	B		
	高大連携等を通じ、学ぶことの意欲と進路意識の高揚を図っている。	B		

（注）・評価表の見方：　６月　学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
１０月　中間評価（自己評価）の公表（８月までの教育活動に対する中間評価）ＡＢＣＤの４段階評価で示す。
３月　総合評価（自己評価・学校関係者評価）の公表（年間の教育活動に対する総合評価）ＡＢＣＤの４段階で示す。
・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
・ＡＢＣＤの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合（達成度80%以上）はＡ、おおむね達成できた場合（達成度60%以上80%まで）はＢ、
あまり達成できていない場合（達成度40%以上60%まで）はＣ、達成できていない場合（達成度40%未満）はＤとする。

学校のＵＲＬ：　https://www.hino-h.shiga-ec.ed.jp/